

学校だよりでお知らせのとおり、今回は「高北いじめゼロプロジェクト2020」において、全校で「いじめゼロ」を目指して取り組んでいます。児童の自主的な取組が学校全体に広がりを見せています。12月1日（火）のお昼の放送で、計画委員の児童が全校に伝えた内容をお知らせします。

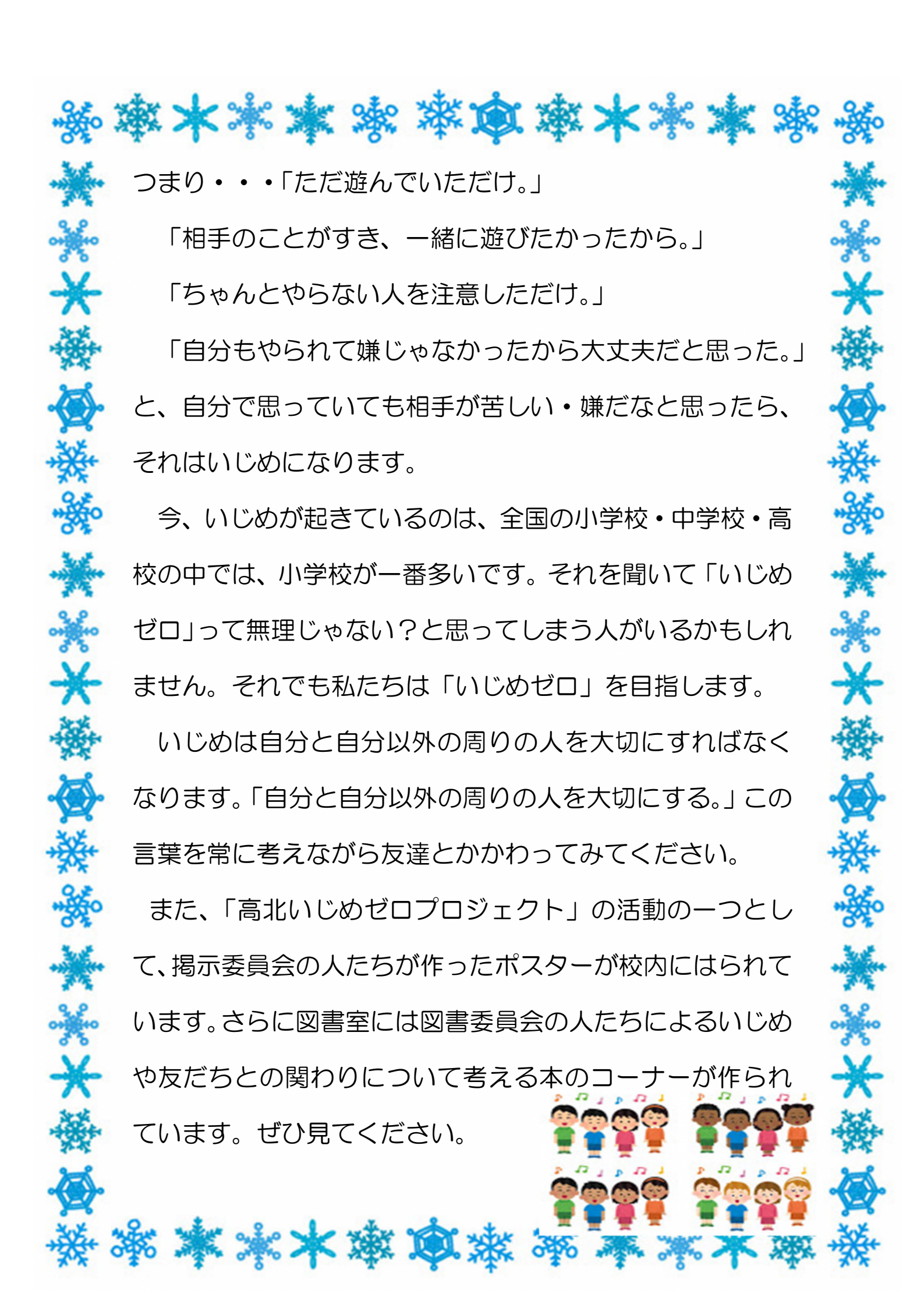
## 「高北いじめゼロプロジェクト2020」

R2.12.1 計画委員会より

先週は千葉県いじめゼロ行動宣言について話をしました。今日はそもそもどんなことを「いじめ」というのかについて説明します。

「いじめ」について知るために、カウンセラールームの松本るみ先生にお話を聞きました。それらをもとにこれから説明していきます。

「いじめ」という言葉は1991年に広辞苑という辞書で初めて登場しました。では、そもそもいじめとはどういうことをいうのでしょうか。何か自分がしたことで相手が苦しい・悲しいと思ったらいじめていることになってしまいます。



つまり・・・「ただ遊んでいただけ。」

「相手のことがすき、一緒に遊びたかったから。」

「ちゃんとやらない人を注意しただけ。」

「自分もやられて嫌じゃなかったから大丈夫だと思った。」

と、自分で思っている相手もが苦しい・嫌だなと思ったら、それはいじめになります。

今、いじめが起きているのは、全国の小学校・中学校・高校の中では、小学校が一番多いです。それを聞いて「いじめゼロ」って無理じゃない?とってしまう人がいるかもしれませんが。それでも私たちは「いじめゼロ」を目指します。

いじめは自分と自分以外の周りの人を大切にすればなくなります。「自分と自分以外の周りの人を大切にする。」この言葉を常に考えながら友達とかかわってみてください。

また、「高北いじめゼロプロジェクト」の活動の一つとして、掲示委員会の人たちが作ったポスターが校内にはられています。さらに図書室には図書委員会の人たちによるいじめや友だちとの関わりについて考える本のコーナーが作られています。ぜひ見てください。

